

CT装置更新！！
<320列CT 東芝アクイリオンONE> 世界最高のCT装置です。

CTとは・・・レントゲンにコンピューターを組み合わせたもので、角度を変えてレントゲン写真を写すことで人体を輪切りにしたような断面画像や立体的画像を得ることが出来ます。

列・・・数が増える程、高性能になり速く広範囲の撮影が可能になります。市販装置では、320列は最高列になります。

【速い】

これまでのCT（16列）は心臓（長さ約16cm）を撮影するのに20秒かかっていましたが今回導入したCT（320列）は最速0.35秒で撮影できるようになりました。
これまでのCTより最高57倍のスピードで撮影が可能になりました。
それにより広い範囲を短時間で撮影が可能です。また、全身の血管も一気に撮影が可能です。

【きれい】

厚さ0.5mmで撮影するため、大量の画像が発生します。しかし、高速画像再構成により、ほとんど待ち時間なしに次の患者さんの検査が可能になりました。
0.5mmの画像を用いて、同時に導入されたフジフィルムメディカル社の3次元画像ワークステーションVincentにより、非常にきれいな3次元画像が簡単に作製可能になりました。
骨折の診断、肺気腫の診断、内臓脂肪の診断など患者さんにもわかりやすい立体画像が簡単に作製可能です。

【安心】

問題になる放射線被ばくもこれまでのCTよりも大幅に減少させることができるようになりました。何度も撮影する肝臓の造影検査、肺がんのCT検診、尿管結石のCTでの経過観察も安心して検

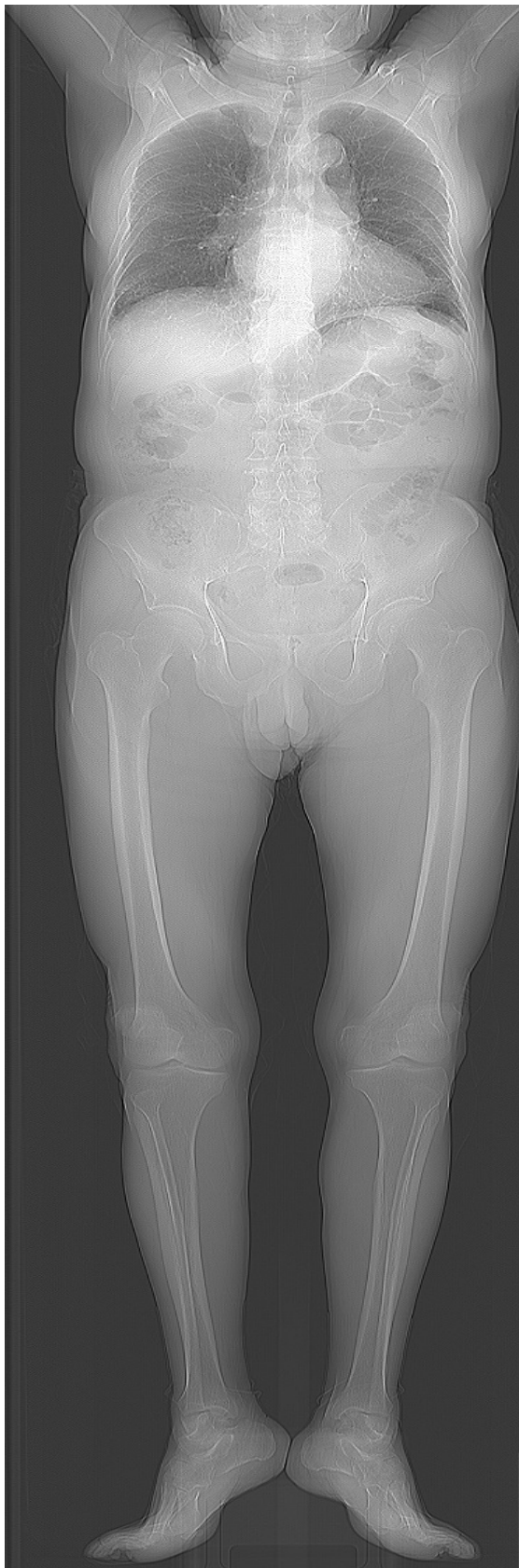
【解析】

横断像（輪切り像）、縦切り像、前向き像、三次元画像など今までよりも大量の画像（判定情報）が取得可能になり、これらの画像を常勤の放射線診断専門医（児島完治医師）が検査後ただちに読影（解析）し、1時間以内に各科担当医師に検査結果が報告されます。
安心して検査をお受けください。

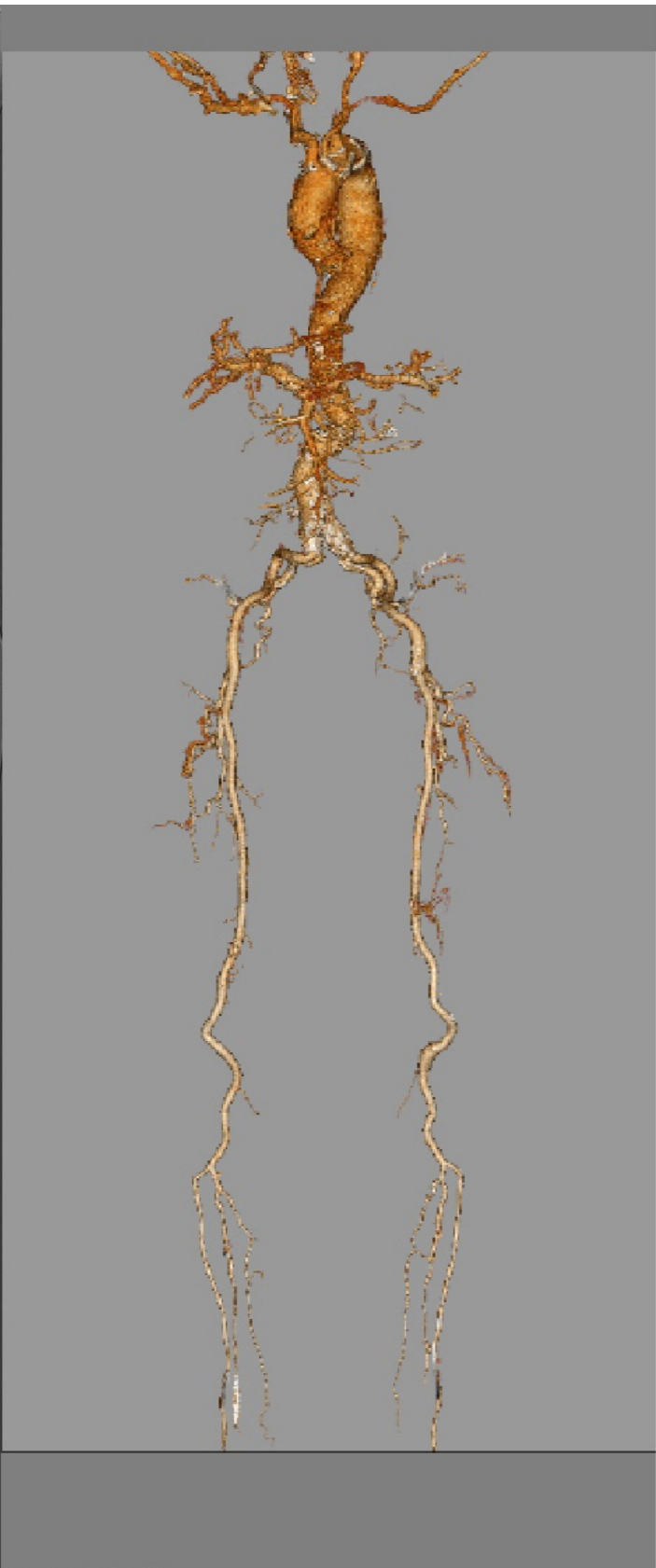
速く、きれい、微細・微小病変が判り、放射線被ばくの少ない320列CTにご期待ください。



左より：真鍋健史 院長、大林公一 心療・神経内科部長、 児島完治 放射線診断科部長



撮影画像（全身）



撮影画像（血管）